

世界遺産の建物をリアルに再現

(鳥根県大田市 石見銀山多言語解説整備事業)

◆キーワード

鉱山独特の専門用語が多く、建物は失われ、非公開部分がほとんどのため、「わかりにくい世界遺産」と呼ばれてきた石見銀山 ⇒ “ICTで、「わかる世界遺産」へ”をテーマとして、

拡張現実(AR)技術で建物を再現！



◆導入事例

清水谷製錬所は、近代技術を取り入れて、鉱山の復活を目指した世界遺産石見銀山の拠点でした。今は石垣が残るのみ。その製錬所の建物をAR技術で精密に再現しました。石垣の上に建物が現れ往時が実体験できます。

“石見銀山ARアプリ”
アイコン



◆概要、特徴



アプリトップ画面



現地のマーカーにスマートフォンをかざしてARを表示



AR表示画面

◆アピールポイント

- ・レーザー計測により測量した石垣遺構のデータをもとに、建築物を古写真などから再現しています。
- ・現地の遺構と再現建物グラフィックに違和感が生じないよう、マーカーの位置を決めています。
- ・再現建物グラフィックは、古記録から色調、風合いを設定しています。



紹介ページを
ご覧下さい▲

担当者連絡先

実施：大田市教育委員会 石見銀山課
住所：鳥根県大田市大田町大田口1111
電話：0854-82-1600
担当：中田健一
メールアドレス：o-iwamigin@city.ohda.lg.jp
石見銀山HP：https://ginzan.city.ohda.lg.jp/

※ご注意ください
2022年2月にメールアドレス・URLが変更される予定です⇒